

貯法等 保存条件：室温保存  
容 器：気密容器

## 局所収れん・消炎・保護剤

日本薬局方

# 酸化亜鉛 (亜鉛華)

日本標準商品分類番号 872649

承認番号 16100AMZ01259

薬価基準記載

販売開始 1951年2月

再評価結果 1979年2月

### 【禁忌】(次の部位には使用しないこと)

- (1) 重度又は広範囲の熱傷〔酸化亜鉛が創傷部位に付着し、組織修復を遅延させることがある〕
- (2) 患部が湿潤している場合〔酸化亜鉛が創傷部位に付着し、組織修復を遅延させることがある〕

### 【組成・性状】

組成：本品1g中、日本薬局方 酸化亜鉛1gを含有する。

性状：本品は白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。

### 【効能・効果】

軽度の皮膚病変の収れん・消炎・保護・緩和な防腐

### 【用法・用量】

外用散剤(散布剤)として 15~100%

軟膏剤・液剤(懸濁剤・リニメント剤・ローション剤等)として 2~60%

上記濃度に調製し、いずれも症状に応じ、1日1~数回患部に適用する。

### 【使用上の注意】

#### 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

#### その他の副作用

種類	頻度	頻 度 不 明
過 敏 症		過敏症状 <sup>注)</sup>
皮 膚		発疹、刺激感等 <sup>注)</sup>

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

#### 2. 適用上の注意

- (1) 誤って吸入しないよう注意させること。
- (2) 眼には使用しないこと。

### \*【薬効薬理】

- (1) **収れん、消炎、保護、防腐作用**：皮膚のタンパク質と結合して被膜を形成し、収れん、消炎、保護並びに緩和な防腐作用をあらわす。また、浸出液の吸収及び分泌抑制により、創面又は潰瘍面等を乾燥させる。
- (2) **外用散剤**：デンプン配合剤は作用を緩和にかつ散布しやすくした製剤で、浸出液を吸収し、局所を乾燥させるが、湿潤性病変には適さない(デンプンの保湿作用により、患部を悪化させることがある)。
- (3) **軟膏、チンク油**：酸化亜鉛の作用に加え、皮膚軟化性及び皮膚密着性を持ち、痂皮を軟化し、炎症を消退させ、肉芽形成・表皮形成を促進させて皮膚疾患を改善する。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：酸化亜鉛 (Zinc Oxide)

分子式：ZnO

分子量：81.39

性 状：本品は白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。水、エタノール、氷酢酸又はエーテルにほとんど溶けず、希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。本品は空气中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

### 【取扱い上の注意】


〈配合変化〉本品は脂肪中の脂肪酸と徐々に反応してオレイン酸亜鉛、ステアリン酸亜鉛などの塊となる。また、バニシククリームに配合すると、製品は乾燥性となって割れやすくなる。これを防ぐには少量の流動パラフィンを加える。亜鉛華軟膏にラノリンを加えるのも同じ目的である。

【包 装】 500g

【主要文献】 第13改正日本薬局方解説書(1996) (広川書店)

【文献請求先】 山善製薬株式会社 学術室 TEL06-6231-1821 FAX06-6231-1824  
〒541-0045 大阪市中央区道修町2-2-4

製造発売元

 **山善製薬株式会社**  
大阪市中央区道修町2丁目2番4号